

1.実施期間 5月25日～6月15日

2.送付団体数 349団体(宛先不明で返送された団体数19団体)

3.回答団体数 98団体

(回収率30% 回答団体数/(送付団体数-宛先不明で返送された団体数))

問1. あなたは市民協働推進補助金を知っていますか？

		回答数	割合		
1	知っています	85	87%	→	問2.へ
2	知りません	13	13%	→	問5.へ

問2. あなたの団体では市民協働推進補助金を申請したことがありますか？

		回答数	割合		
1	申請したことがある	24	28%	→	問3.へ
2	申請したことはない	61	72%	→	問4.へ

○ 補助金を知っている かつ 申請をしたことがある 団体

問3. あなたの団体が補助金を使ってみて(申請してみて)、改善を希望することがあれば教えてください(複数選択可)。

		回答数	割合
1	補助率	10	21%
2	限度額	6	13%
3①	設立年数	3	6%
3②	補助回数	8	17%
3③	事業実施場所	0	0%
4	審査方法	3	6%
5	対象団体の条件	2	4%
6	対象外経費	5	11%
7	申請書類	6	13%
8	事業期間	0	0%
9	募集時期	3	6%
10	その他	1	2%

具体的な意見は別紙

○ **補助金を知っている かつ 申請をしなかった 団体**

問4. あなたの団体が申請をしなかった具体的な理由があれば教えてください。
(複数選択可)

	回答数	割合
1 補助率	10	13%
2 限度額	6	8%
3① 設立年数	4	5%
3② 補助回数	1	1%
3③ 事業実施場所	3	4%
4 審査方法	4	5%
5 対象団体の条件	4	5%
6 対象外経費	7	9%
7 申請書類	8	10%
8 事業期間	0	0%
9 募集時期	2	3%
10 資金は足りている	14	18%
11 その他	17	21%

具体的な意見は別紙

問5. 今回、補助金制度を知って、あなたの団体として申請してみたいと思いましたが？

	回答数	割合	
1 申請してみたい	4	33%	→ 問6.へ
2 申請は特に考えない	8	67%	→ 問7.へ

○ **補助金を知らない かつ 申請をしてみたい 団体**

問6. あなたの団体として申請してみたいと思った補助金の種類は？

	回答数	割合
1 つつじ	1	25%
2 くすのき	2	50%
3 ハード	1	25%

○ **補助金を知っている かつ 申請は特に考えない 団体**

問7. あなたの団体が申請を特に考えない具体的な理由があれば教えてください。
(複数選択可)

	回答数	割合
1 補助率	0	0%
2 限度額	0	0%
3① 設立年数	0	0%
3② 補助回数	1	13%
3③ 事業実施場所	0	0%
4 審査方法	1	13%
5 対象団体の条件	1	13%
6 対象外経費	0	0%
7 申請書類	1	13%
8 事業期間	0	0%
9 募集時期	1	13%
10 資金は足りている	1	13%
11 その他	2	25%

具体的な意見は別紙

問3. あなたの団体が補助金を使ってみて(申請してみて)、改善を希望することがあれば教えてください。

1 補助率	<p>小規模な団体には自己負担が大きく、何のために補助金を申請するかわからない。</p> <p>各団体により自己資金に差がある。団体の活動状態などを考え、補助率を考えるべきでは。特にボランティアを主体に活動する団体には、企画・実施力がありながらこれらに使用する資金が確保できない。補助事業自体が、資金のない団体を支援すべきものではないのか？</p> <p>ボランティア団体の場合、自己資金に余裕がないので簡単に申請できない。各団体の活動資金を考えるべきである。特にくすのき補助金はきびしい。事業の企画力や実施力があるのに自己資金がないために尻込みしているボランティア団体が多くあると思う。この制度はそれらの団体を支援するためにあるのではないか？</p> <p>補助率100%を望みます。半額では正直厳しく、結局自腹を切ることに。</p> <p>くすのき補助金の補助率を50%→70～80%に上げてほしい。例えば、年予算が200千円以下の団体は、半分を申請した行事に使うとすれば総費用200千円以上の行事や活動が出来ないです。</p> <p>補助率は額が低くてもよいので100%にしてほしい。</p> <p>くすのき補助金の補助率を上げてほしい。</p> <p>補助率が低い。</p>
2 限度額	<p>限度額を少なくして、回数(期間)を増やす。継続することに意義があるが、消耗品費すら個人負担でやっているのでも役立つ手段があれば助かる。</p> <p>予算がオーバーするので限度額を多くしてほしい。</p> <p>限度額が少ない。</p>
3① 設立年数	<p>設立年数制限はなくてもよいと思う。</p>
3② 補助回数	<p>「同一事業」の判断(内容?目的?)に苦しむのでは。</p> <p>素晴らしい活動には継続的な補助を望みます。</p> <p>1つの事業が確立するまでには最低3年の継続が必要。同一事業内容で同一実施場のものにも3回まで補助可というようにしてほしい。</p> <p>「つつじ補助金」の少額申請は1年のみでなく、2～3回と継続されると実施例としては大変助かる。</p>
3③ 事業実施場所	
4 審査方法	<p>応募種目(例えば青少年向け、子供関連、教育など)を分野ごとに絞った募集をしたらどうか。均等な機会を保って欲しい。</p> <p>結果が目に見える事業は成果がわかりやすいが、私たちの様な心の豊かさを成果とする団体、活動内容が知られていない団体は活動を見に来る等して活動内容、申請理由を理解する努力をしてほしい。</p> <p>ボランティア団体とNPO法人は審査の基準を別にしてプレゼンテーションを行ってもらいたい。審査員の資格はどのようなことを基準に決めているのですか。ボランティア団体を審査する場合にボランティアの実績がない人が審査しても意味がないと思います。</p>
5 対象団体の条件	
6 対象外経費	<p>会員への活動内容報告は必要。通信費も対象に。</p> <p>30%までは団体の間接費への充当を認めてほしい。</p> <p>ボランティア構成員への補助(障害者の方達と外出する時の経費)。</p> <p>恒常的経費が多い。</p>
7 申請書類	<p>申請の書類が多い。また終了の書類が多い。</p> <p>記入する書類が多く、書き方も複雑で分かりにくかった。もう少し簡略して欲しい。</p> <p>申請書類をもっと減らしてほしい。</p> <p>インターネットで申請できるように(メールでも)してほしい。</p> <p>手間がかかりすぎる。</p>
8 事業期間	
9 募集時期	<p>もう少し幅を広げてほしい。</p> <p>募集期間がよく周知されていない気がする。もっともこれは当方の見識不足なのだと思う。</p>
10 その他	<p>地域リーダー育成につながる仕組みの研究をしてほしい。自治会の推薦があれば加点など、各活動と自治会の関係づくりを促す仕組み。</p> <p>会費(3,000円/年)で運営している。</p>

問4. あなたの団体が申請をしなかった具体的な理由があれば教えてください。

1	補助率	自己資金がないので、10/10でないと申請できません。 補助率が低いと、資金不足が生じる事が考えられた。 自己資金がないため。 くすのきの場合、50%補助だが、残り50%の資金がない。 団体予算(資金)が足りていないのに、事業経費の半額しか補助が支出されないのは、とても使いにくいと思います。 会としては原資がないので補助100%のつづきを利用したいが、設立年数が2年未満なので条件に合わない。会としてやりたいこともあるが、補助金制度の利用は無理のようである。 活動内容からみて、条件等合わないため。50%補助というのは、市民活動団体にはそぐわないと思っています。
2	限度額	限度額の引き上げ。
3①	設立年数	
3②	補助回数	
3③	事業実施場所	
4	審査方法	補助額と、申請書類やプレゼンなど事務工数のバランスが合わない為。 他団体で申請した際、審査の方法が不平等さがあり。基準が一定でなく不信感があり。(自分たちの団体関係者を席に座らせて投票する団体がある)
5	対象団体の条件	ボランティア活動の実績など(?) 他より支援、補助を受けている団体は不可とのことから。
6	対象外経費	対象になるところが、民間で運営している者としては生みだしにくいところなのでその補助をして頂けるのが望ましい。特に、発達障害の理解・支援は、その後に続く社会問題の発生を防ぐ。障害を持つ子の親に限られた時間の中で、社会の為に時間等、労力を使っていることを何とか評価頂けるとありがたいと思います。 クラブ団体の運営に関する事務費、構成員への人件費など、経営的経費の対象外のため。
7	申請書類	小さな団体での活動ですので申請書類が多すぎる。5万円以下の少額の補助に対して、もっと簡単で省略された申請手続きにしてほしい。 視覚障害者が主になって活動する団体の為、書類の作成が困難であった。
8	事業期間	
9	募集時期	補助金制度を知ってから募集期間の間に書類が準備できなかった。
10	資金は足りている	現状、活動資金は無償提供(オレンジプラザ等)又は会員の自費(機材等)でまかなわれているため、追加の資金が特に必要ない。 1つの小学校校区内で運営しており、一般の人に向けた活動ではないので、申請していない。また、活動に必要な実費を参加者全員合意のもとで全員で負担しているので、資金は足りている。 市民館の協力を得ているから。材料費などは参加者に払ってもらっているから。 講座ごとに1人500円の会費を集め、それで講師への謝礼(交通費)、資料プリント代、会場費、通信費をまかなっています。万単位での謝礼を出すような方はお呼びできませんが、今のところは、薄謝でご勘弁いただいております。自助自立をモットーとしております。 活動資金は会員負担でやっているの、現在のところ、活動資金は足りています。
11	その他	就労継続B型事業に関わる内容が主なため補助対象となる活動をしぼり切れなかったため。 補助金ではなく、施設(体育館等)の利用料の免除もしくは減免措置等をしてほしい。 緊急支援として活動が限定的であったため。現在はそれぞれの「支援」の情報交換として不定期に会合をもっております。 会員相互の親睦が主で、他に活動してないから。 社協より補助金を受けている。 十分な検討を行っていなかった。 特に必要ない。 みどりの協会の助成金を利用。 学習会で講師をまねく時などは講師料を参加費でまかなうなどしている。オレンジプラザの印刷室を使うことは有難い。そこにパソコン、プリンタがあれば原稿を急に訂正する時便利だと思います。 社員の親睦団体のボランティア活動のため。 補助金を頂く必要性を感じない。ボランティアの意味がないと思う。 当会の目的と補助金のそれとが合致しないため。

現在のところ必要としていない。
忙しくて申請のための時間が取れない為。
JA豊橋女性部会はJA豊橋より助成を受けて活動しています。

問6. あなたの団体として申請してみたいと思った補助金の種類は？

1 つつじ	初めての申請。
2 くすのき	設備を増やすためには、くすのきくらいのお金が必要である。 当センターの活動は、創設者の精神に基づき自らの人間性復活を目的に、地域ぐるみ国際社会ぐるみの活動を推進しております。市民の意識向上に貢献しており、条件に該当しますので、申請させていただきますと思います。
3 ハード	イベントの性格上。

問7. あなたの団体が申請を特に考えない具体的な理由があれば教えてください。

1 補助率	
2 限度額	
3① 設立年数	
3② 補助回数	
3③ 事業実施場所	
4 審査方法	
5 対象団体の条件	
6 対象外経費	
7 申請書類	
8 事業期間	
9 募集時期	今年度、今現在予定なし。今後、会場等の予約が取れれば、実施予定。
10 資金は足りている	
11 その他	市の業務委託料(自治会への委託業務)で議会からドロボウよばわりされ、市からの金は受けないようにしている。ただはっきりした業務のある場合は除く。 当法人として何が出来るか検討がなされていない。

その他の意見

補助金の使用に団体の新たな活動の方向を試みる事ができました。
今までに他の補助金申請を何度もしたのにダメだったので、あきらめています。
「市民協働」の目的と言うか評価と言うか、どの程度の活動かを明確にできる基準があると良いと思います。私の考えは「社会貢献」のあるものが市民協働であり、今の内容はボランティア活動から個人的な趣味の活動まで含まれている。活動団体を排除するということではなく、より良い活動をしてもらう為に活動評価をしたらどうかと思っております。
ネクストの場合、書類審査の段階で除外される場合、その理由づけはきちんとなされているのだろうか？・ジャンルの提示がなされていないと企画の焦点が定まりにくい場合がある。
豊橋みどりの協会で公園の清掃させていただいています。
補助金を申請するための方法を教えてください。